大腸癌-10

(*RAS*遺伝子野生型)進行・再発大腸癌　アービタックス単剤療法　患者プロトコール

催吐リスク
最小度

投与プロトコール　1クール 7日間 コース制限なし 《開始時基準　PS:0〜1　年齢:18-75歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食　500mL	—	Day1	—	
プレメディ	ﾎﾟﾗﾗﾐﾝ5mg＋デキサメタゾン＋生食100mL		Day1	30分	
①	アービタックス: 初回:　400mg/㎡ 生食(500-ｱｰﾋﾞﾀｯｸｽ注入量)mL	初回 mg	Day1	初回 2時間	
	2回目以降:　250mg/㎡ 生食(250-ｱｰﾋﾞﾀｯｸｽ注入量)mL	2回目以降 mg		2回目以降 1時間	
経過観察 (1時間)	ｱｰﾋﾞﾀｯｸｽ投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュ:ｱｰﾋﾞﾀｯｸｽの投与速度と同じ速度(4mL/分)以下で。以降、infusion reactionの発現に注意し、1時間経過観察。				

佐賀大学医学部附属病院

佐賀大学医学部附属病院